

この新聞は、本校生徒と保護者に進路情報発信のためのものです。

～大切な秋～



すっかり秋めいて涼しくなってきました。10月は大きな行事もなく、目的を失いがちになりそうですが、実は今、すべての年次にとって大切な時期です。3年次生にとっては進路実現に向けた勝負はすでに始まっていますし、一般入試の人にとっては受験勉強に全力投球中です。1, 2年次生にとっては、これまでの自分の学習状況や学力を見直す重要な時期です。1年次生は中学時代の学習が定着していますか？高校生になり1学期に学習した内容がすべて身に付いていますか？2年次生は昨年1年間を振り返り、高校2年生としての基礎学力を持っていますか？自問自答してください。修正をかけるなら今ですから、よく考えよう。進路実現を果たすためには何が必要か？最も必要なのは**学力**です。この学力を蓄えるのに、大切な時期がこの2学期の秋です。まずは1学期を振り返り、目の前にある授業や課題としっかりと向き合い、逃げずに挑戦しましょう。

ここで、9月29日(水)実施の1, 2年次生の第2回実力診断テストについて確認しておきます。

【実力診断テストとは？】

実力診断テストとは、進路実現に向けた可能性を発見し、次の一步を踏み出すために行います。定期考査が校内大会ならば、いわば全国大会のようなものです。現在の自分の学力を知る貴重な機会であり、その学力は「GTZ」というA～Dのゾーンで示してあり、3年間でその成績推移をみていきます。

22 GTZとは？



学習到達ゾーン	大学短大	専門学校	就職
A1	MARCH 日東駒専		大手企業・公務員 ・大手企業で求められる基礎学力がある ・公務員合格者の平均レベル
A2			
A3			
B1			
B2			
B3 就職にも進学にも有利な学力レベル			
C1	大東文化 東海 亜細亜 帝京 国士館	看護、医療系 合格レベル ・看護、医療系専門学校合格 ・専門学校の奨学生・学費免除	筆記試験・資格取得 対応レベル ・就職試験に十分対応できる基礎学力がある ・工業系・商業系2級以上の資格取得のために目指したいレベル
C2			
C3 進路の幅が広がる学力レベル＝高校生基礎力			
D1	基本的な読み・書き・計算力は身につけている 自分の可能性を広げるために、Cゾーン以上を目指したい		
D2 基本的な読み・書き・計算ができる学力レベル			
D3	就職試験で不合格になることも・・・ 進学後の授業や就職後の仕事についていけない可能性がある		

©Benesse Corporation 2020. All rights reserved.

おおよそ上記の表のように、現在の自分の可能性が把握できますが、テスト1問は大体5点出題されているので、1問正解すれば一つ上にランクアップすることもできます。一問一問丁寧に解いていくことが大切です。また、6月の結果と今回を比較して、復習すべきことはどこにあるか把握してください。

【 頑張れ！3年次生 】

現在、3年次生は進路実現に向けた活動に邁進中です。総合型・推薦型入試はすでに始まっています。そして、来たるべき冬の受験シーズンに向けて日々励んでいる人がたくさんいます。大学入学共通テストの申し込みも終了し、校外模試を受験した人もいます。試験本番までまだ3か月以上はあります。現役生は試験前日まで伸びるといわれています。目標を高くもち、最後まで自分を信じて、頑張れ！12期生。そこで、模試の見方・使い方の例を一つ紹介しておきます。

◎なかなか模試の成績が上がらないのは、なぜか？

夏休みに頑張ったはずなのに、模試の判定が悪くてあせってしまい、志望校を下げようか考えてしまう。しかし、夏休み明けの時期に伸び悩みを感じるのはよくあること。夏休みの勉強の成果が身に付き、結果としてあらわれるのは早くても2、3か月はかかる。10月～11月頃に発揮できると信じよう。

◎夏休み後のD～E判定はあまり気にしない

多くの受験生は、努力すれば右肩上がりに学力がすぐに伸びると考えがちだが、勉強したことが答案作成力として使いこなせるまでには時間がかかる。だから、志望校判定がD～Eであっても、現時点での参考値として、あまり重く受けとめないこと。いったん理解が進めば、そこから飛躍的に学力がアップする。階段を登るように・・・

◎判定以外に、成績表のどこを見ればいいのか？

成績表の中で注目したいのは、受けた科目の問題別・分野別の得点と正答率。自分の弱点がどこにあるか、どの分野の対策が遅れているかがわかる。それを把握して、今後の学習計画に反映させよう。効率的な勉強を実現することが合格への近道になる。

◎答案を大切にす

成績表以上に大切なのが、採点された答案そのもの。うまく活用すれば最強の教材になる。どこを間違ったか確認し、次は間違えないようにする。誤答した時こそが絶好のチャンス。マーク模試なら、試験直後に自分がマークした選択肢に印を付け、迷ったすえにやめた第2候補の選択肢にも印を付ける。答案返却後に、正解を見ながら照らし合わせ、間違った問題に第2候補の選択肢があれば、どれだけ取りこぼしたかが分かる。そこが、伸びしろポイントになる。

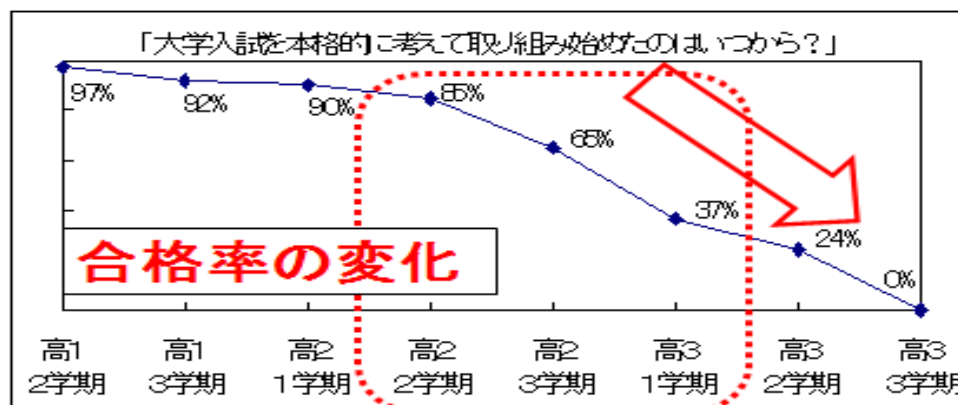


【 進路実現のためにいつから取り組みますか？ 】

6月の進路通信でもお知らせした内容ですが、とても大切なことなので、再度確認してください。過去に、志望校に合格を果たした人の中で、いつ頃から本気で勉強を始めましたか？との質問に対する答えが下記のグラフになります。

進研ゼミアンケート

いつから本気で勉強したらいいの？【今から始める】



- ①受験勉強を始めるのが遅くなるほど合格率が下がる
- ②高2の二学期以降の合格率の下がり方が急になる